

様式 4 - 1

事業職員における事業所評価に関する集計結果【放課後等デイサービス】（令和7年度公表）

公表日：令和8年3月27日

事業所名：今金町子ども発達支援センター【きらきらクラブ】

職員数：5（2026年2月28日現在） ■回答数：5 ■回答率：100%

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		2	3	・部屋が足りない時がある。 ・ホールをパーティションで仕切る等工夫しているが1つの部屋で自立する人や個別する人が居る場合がある。	・利用者数の多い時間帯等、部屋やスペースの確保に困難なところがあるので、限られた環境の中で構造化できる環境や活動を検討し、対応する職員等を適宜調整し、整備を図っていきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		3	・利用定員に対しては適切かもしれないが、小学校への支援に向かう職員もいることから、適切とは言えないと思う。	・機関支援との兼ね合いを踏まえ、不足となる点を補える体制を整備し、適切と感じられる運営の進め方を見直していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。			5		・今後、職員間で共有できる時間と日程を設け、業務の振り返りや目標の見直し・再構築の図れる体制を整備していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		2		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			5	・意見に対して職員が揃って話し合う機会がなかった。今後はそのような機会を多くしていきたい。	・意見を踏まえ、今後、職員が一斉に揃い話し合える機会を増やせるよう見直しや業務整備を図ります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2		3		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		1		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		1		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		1		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		2	・自分自身、他の児童の計画をじっくり見る余裕がなかった。	・意見を踏まえ、職員間でじっくり検討の図れる機会をつくり、支援の見直しや検討を図られる体制を整えていきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		2		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		1		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	1	3		・活動のプログラムを個別に検討しているところが多かったことは見直しを図り、今後は職員間で検討・共有の場を設ける等立案の体制を整えていくよう整備します。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		2		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			2	3	・必要な事だが、なかなかできていないのが現状。今後は行っていきたくと思う
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2	2		・必要な事だが、なかなかできていないのが現状。今後は行っていきたくと思う	・支援の終了後と職員の勤務時間等で、その日の振り返り等が難しいことがありますが、今後は、確認や協議のできる場を設け、支援の共通性や改善に努めていきたいと考えています。

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		2		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	3		2		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	3		2		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2		3		・近年そのような児童の該当はありませんが、必要に応じて適宜対応の図れるよう努めています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3		2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3	2		・子ども同士の交流は子どもの様子や特徴・ニーズを踏まえ難しいところがありますが、当法人のこども園・学童保育所との職員間で交流を図っています。（施設訪問支援・職員会議に参加等）
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	2		・R7年度はご家族の参加できる研修会の機会は専門支援等限られた機会であったので、今後はご家族も参加がしやすい研修会等にも取り組んでいけたらと考えています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		3		・重要事項説明書等に記載し、変更のある場合については、保護者へ丁寧に案内や説明を図っていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3	2		・緑日交流会の他に保護者の交流会等の機会を検討することも考えられますが参加できる保護者数や日時の調整等、時間外対応も必要である場合を鑑み、有効的な実施の検討は必要です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		4	1		・行事等の案内等、通信等を定期的に発行することが難しく、HPやSNS等の導入・活動も現状においては検討していないので、今後必要性があるものに関しては取り組むべきか検討していきたいと考えます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5					
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	1	・緑日交流会の時には、お友だちを誘ってと伝えていますが周知までは至っていない。	・行事については個々に都合等もあるかと思いますが、広く参集できるまでには限りもあるかと思えます。行事以外の事業を通しセンターの認知を広げ地域に開かれる運営も検討していきます	

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常 時 等 の 対 応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		2		
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		1		
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		1		
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2		3	・医師の指示書に基づいていないが保護者による対応方法に基づいて対応	・引き続き保護者の報告や対応に基づき適宜対応を進めていきます。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1		4		・児童の安全が確認できる事柄等、整備に努めていますが、保護者との連携を要する事案等については必要に応じて作成や整備を施していきます。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。			5		・児童の安全が確認できる事柄等、整備に努めていますが、保護者との連携を要する事案等については必要に応じて作成や整備を施していきます。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5				
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	1		・虐待防止の研修会についてはピアサポート事業や日頃の支援等の振り返り等を通し確認・啓発を行っています。今後も職員間で啓発を図り防止に努める取り組みを進めていきます。
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5					

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。